

## 令和4年度第6回市政懇談会 会議録（要旨）

<b>【日 時】</b> 令和4年7月26日（火） 18時30分 ～ 19時30分
<b>【場 所】</b> 小野ふれあいセンター
<b>【出席者】</b> ○篠崎市長 ○地区代表者（5名） 小野地区振興対策委員会会長 : 末田 昭男 小野地区コミュニティ推進協議会会長 : 村谷 啓介 J A山口県宇部総括本部理事 : 志賀 順子 小野地区自治会連合会会長 : 清水 隆司 環衛連小野支部支部長 : 井上 慎二 ○総合政策部長 ○事務局（広報広聴課、小野ふれあいセンター、地域支援員）
<b>【概 要】</b> 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会
<b>【意見交換・懇談】</b>
<b>○小野湖周遊道の設置について</b> <b>【振興対策委員会会長】</b> ・アクトビレッジから下小野への湖畔に周遊道を整備することについて、協議が進んでいない。地元としては、車や自転車が通れなくても、二人並んで歩ける程度でいいので整備を進めたい。小野湖を皆さんに見てほしい。 <b>【市長】</b> ・周遊道整備の協議については進捗状況を担当課に確認し、直ちに協議を再開するよう指示した。市民活動課と北部地域振興課で調整し、令和4年8月に実施できるよう連絡する。 ・周遊道の整備が目的ではなく、周遊道を使って何をするか、何がしたいか、どうすれば人が来てくれるのか、地域の皆さんとしっかりと協議していきたい。
<b>○空き家対策について</b> <b>【コミュニティ推進協議会会長】</b> ・小野地区の空き家は、若い世代の居住ニーズにマッチしていない。また、適正な維持管理がなされていないことから、防犯、災害、景観、倒壊による近隣への被害などの問題がある。行政と地区の団体が一体となり、空き家の適正管理をするための研修会を各地区で定期的で開催してほしい。

### 【市長】

- ・空き家に関する研修会の開催は可能である。希望される場合は、ふれあいセンター館長に相談していただければ、住宅政策課につなぐ。
- ・「空き家流通促進プラットフォーム」を構築し、空き家を価値があるうちに売却するなど、空き家の発生や放置が減るよう取り組んでいる。
- ・空き家の情報については、小野地区の地域おこし協力隊の YouTube チャンネルや「インフォメーションセンターおの」のウェブサイトで発信できるので、活用していただきたい。

## ○高齢者の地区内移動、小野小学校の存続について

### 【JA 山口県宇部総括本部理事】

- ・地区内でバスが通っていない所があり、高齢者が免許返納した後の地区内移動が難しい。有償ボランティア「ハッピーライフおの」でも送迎が課題となっている。
- ・地域の小学校が無くなると、若い人がUターンで帰って来ない。学校があつての地域、地域があつての学校なので、小学校をぜひ残してほしい。
- ・7月10日に「おのっこ未来応援隊」で児童数を増やすためのイベントを行い、約30組が参加した。
- ・小野地区に興味を持ってくれたが、特認校制度を利用するためには、交通の便が悪い事が課題となっている。
- ・子どもたちの通学や高齢者の移動のために、良い交通システムづくりをお願いしたい。

### 【市長】

- ・免許返納後の地区内移動については、デマンド交通「小野きずな号」が小野と嘉川の間で午前1便(10時~11時)午後1便(12時~13時)運行している。
- ・移動方法がない地域については、デマンドタクシーという仕組みをつくることできる。デマンドタクシーは、地域で運営していただくようになる。利用時間等について地域の意見をまとめて、都市計画課に相談していただきたい。地域のみなさんと一緒にデマンド交通の仕組みを作っていく。
- ・特認校制度での通学は、保護者の送迎か公共交通機関の利用していただくことになっており、交通費助成制度が利用できる。助成制度については、実情に合わせて、今後、変更も検討していく。
- ・子どもたちにとって何が一番いいのか。専門家、地元の関係者にご意見をいただき、学校の適正配置について引き続き議論していく。

## ○農地転用、優良田園住宅適用について

### 【小野地区自治会連合会会長】

- ・若い人が転入し、新たに家を建てる際、国道490号や県道230号沿いの、農業をされていない方が多い地域を農業振興地域の指定から外していただき、宅地へ農地転用できるようにしてほしい。市ウェブサイトを見たところ、農業振興地域整備計画につい

て、今年度から来年度にかけて計画を見直すことになっているが、そのあたりも考えてほしい。

- ・優良田園住宅の制度を活用し、固定資産税の減額や不動産取得税の特例措置の制度を考えていただき、住むきっかけを作ってほしい。

#### 【市長】

- ・小野地区の農地転用許可件数は、令和2年度は1件という状況であるが、潜在的なニーズはあると考えている。それらのニーズを踏まえ、優良田園住宅適用の可能性を検討していきたい。

### ○市道の草刈りについて

#### 【環衛連小野支部支部長】

- ・現在、市道沿いの土地を耕作している人が草刈りを行っているが、数年後には高齢化により難しくなる。市に依頼した場合は、草刈りの範囲が道路から幅1m程度となり、不十分だと思っている。
- ・市道の上に生い茂った樹木は、地域で伐採することが難しい。しかし、伐採しないと大型のバスなどの通行ができなくなるので、市に高枝切狭や高所作業車などの貸し出しをしてほしい。

#### 【市長】

- ・市が税金で行うとなると、道路から幅1mという最低限の範囲での実施、また、回数も減ってしまう。市でご希望の範囲の草刈りを実施するための財源が無いのが現状である。
- ・人口減少や少子高齢化の進行による様々な課題に対応するため、立地適正化計画の居住誘導区域へ居住を誘導し、デマンド交通を活用する等、利便性も高めていかなければならない。
- ・草刈りの機材等のリースについては、持ち帰り検討する。

### ○エヴァンゲリオンについて

#### 【環衛連小野支部支部長】

- ・現在、まちじゅうエヴァンゲリオン第2弾を開催中であるが、境港市の鬼太郎によるにぎわい創出などを参考に、夜になるとエヴァンゲリオンの使徒が出てきたりするなど、宇部市に多くの人が訪れ、お金を落としてもらえるようなしかけを考えてほしい。

#### 【市長】

- ・エヴァンゲリオンの世界観を大切にしたいという理由から、事業内容によっては、製作者サイドとの協議で実施が難しいものもある。
- ・宇部市の稼ぐ力、やり方を考え、税収を増やしていきたいと思っている。

### ○北部地域の森林の活用について

#### 【小野地区自治会連合会会長】

- ・北部地域の森林を活用し、小野に再生可能エネルギーとなる小規模のバイオマス発電所を造れないか。
- ・エネルギーの地産地消で、地域を活性化してはどうか。
- ・小野地区のどこが市有林なのか分からない。市有林の位置がわかれば、その市有林の竹を伐採して有効活用できる。市有林についてももう少し周知してほしい。地域がすべきことがあれば教えてほしい。

**【市長】**

- ・竹からオイルを造る技術などがある。
- ・山口県では林道が整備されていないため、バイオマスに使える木が少ないのが実情である。
- ・ときわ公園で新しいビジネスを考える取組の1つに、5年程度で大きくなる早生樹を植えて、成長期にはCO2を吸収し、成長後はその木をバイオマス燃料に使うという取組がある。5年のサイクルで、どのような樹を植えるのか実証実験を行っている。周南市にも同じような活用例がある。
- ・カーボンニュートラルという観点からも、バイオマスのアイデアは非常に良いと思うので今後検討していきたい。